

道徳科学習指導案

指導者 T 1 見田 杏花
T 2 重森 恵美子

1 日 時 令和5年 11月 17日（金）5校時

2 学 年 第2学年（15名）

3 主題名 「しっかりと やりぬく心」 [A 希望と勇気, 努力と強い意志]

4 ねらい

「なまけにんじゃ」に消えてほしいと思っている「ぼく」の気持ちを考えることを通して、怠け心に勝つと、やってよかったという喜びがあることに気づき、自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかり行おうとする態度を育てる。

5 教材名 「なまけにんじゃ」
（「小学どうとく 生きる力」日本文教出版）

6 主題設定の理由

○主題観

本主題は、第1学年及び第2学年の内容項目[A 希望と勇気, 努力と強い意志]、「自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行うこと。」に基づくものである。これは、第3学年及び第4学年では、「自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜くこと。」、第5学年及び第6学年では、「より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。」に繋がっていく。

児童が一人の人間として自立し、よりよく生きていくためには、何事にも挑戦し、常に自分自身を高めていこうとする意欲をもつことが大切である。そのためには、自分の夢や目標をもってその達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことや苦手なこともしっかりとやり抜く忍耐力を養うことが求められる。しかし、やらなくてはならないことや自分の目標に向かって頑張らなくてはいけないと分かっているものの、楽しいことや楽なことに逃げてしまい、怠けてしまうことも少なくない。怠け心に勝って、自分のやるべき仕事や勉強をしっかりと行うことのよさを実感できるようにと考え、本主題を設定した。

○児童観

○指導観

本教材は、やるべきことをやらなくてはいけないと分かっているが、自分の怠け心に負けてしまう「ぼく」の気持ちに共感しながら、それでも最後までやり抜くことの大切さを考えることができる教材である。

指導に当たっては、児童が主体的に考え、友達の考えを聞くことで自分の考えを深められるようにしたい。そのために次の4点に留意する。

- ① 事前にアンケートを取ることで、掃除や勉強以外の場面でも同じように「なまけにんじゃ」が出てくる場面があり、「なまけにんじゃ」は誰の心の中にもいることを押さえることで、課題に対して自分事として考えられるようにする。
- ② 展開前段では、やるべきことが分かっていながらも、怠け心に負けてしまう「ぼく」の気持ちに共感させることで、課題に対しての考えを深められるようにする。
- ③ 中心発問では、役割演技をさせることで、怠け心に打ち勝とうとする気持ちをより強くもち、打ち勝つことの大切さに気付かせる。また、自分の生活を振り返りながら考えを深めることができるようにする。
- ④ 展開後段では、なまけずに最後までやり抜くことのよさについて考えさせた上で、今後なまけたい気持ちが出てきたときにはどのように対処するのかを考えることで、児童それぞれの日常生活に戻して考えられるようにする。

7 準備物 ・挿絵 ・ワークシート

8 学習指導過程

	学習活動	○主な発問 ・児童の心の動き	指導形態		○留意点●評価
			T 1	T 2	
導入 (5分)	1 事前アンケートの結果を示して、課題を設定する。	○どんなときになまけたくなりますか。 ・疲れたとき。 ・面倒なとき。 ・遊びたいとき。 ・ゲームをしたいとき。	発問	板書	○なまけたくなったことがあるということから課題につなげる。
	なまけたい気持ちに勝つためにはどうすればよいだろう。				

展開 (35分)	2 教材「なまけにんじゃ」を読んで考え、話し合う。	○なまけにんじゃとは、どんな忍者でしょう。 ・なまけようとする忍者。 ・なまけようと誘ってくる忍者。 ・めんどくさがりの忍者。 ・心の中に住んでいる忍者。	発問	板書	
		○なまけにんじゃが出てくると、「ぼく」はどんな気持ちになるでしょうか。 ・テレビが見たい。 ・少しくらいいいか。 ・めんどうだからやめようかな。 ・しなくてはいけないから、邪魔しないでくれ。 ・今が楽だからいいか。 【中心発問】	発問	板書	○やるべき勉強や仕事があるとわかっていながらも、怠け心に負けてしまう「ぼく」の気持ちに共感させる。
		○「ぼく」がなまけにんじゃに消えてほしいと思っているのはどうしてでしょう。	発問	板書	○教師が「なまけにんじゃ」、児童が「ぼく」の役割演技をする。児童の「なまけにんじゃ、消えろ！」の言葉に「どうして怠けてはいけないの？」と問い返すことで、怠け心に打ち勝つことの大切さに気づかせる。
		・今そうじをやっておかないと、どんどん汚くなって、もっと大変になるんだ！ ・きれいな部屋の方が気持ちがいいんだ！ ・勉強は、テレビより先にやらなければならないんだ！	机間指導	机間指導	
		【考えを深める発問】	役割演技		
		○怠けていけないのは、どうしてでしょう。	発問	板書	
		・自分のやらなければいけないことだから。 ・自分のためにならないから。 ・あとで自分がこまるから。	机間指導	机間指導	

	3 自分の生活を ふり返る。	○なまけにんじゃを追い出したことはありますか。そのときどんな気持ちになりましたか。 ・いなくなってうれしい。 ・すっきりした。 ・よし、がんばろう。 ○なまけにんじゃに勝つためにはどうすればよいでしょう。 ・やらなければならないことを最後までやる。 ・やらなければならないことをやってから、楽しいことをする。 ・今は宿題をやるぞ！と自分の心に言い聞かせる。	発問	板書	【キーワード】 ・気持ちがいい。 ・すっきり。 ・がんばろうと思える。
終末 (5分)	4 学習の振り返りをする。	○なまけたい気持ちになっている「ぼく」にアドバイスをしてあげましょう。 ・やらなければやらないことを最後までやると気持ちがいいよ。 ・勉強を終わらせてから、テレビを見た方がいいよ。 ・今は宿題をやるぞ！と自分の心に言い聞かせるといいよ。	発問		●最後までがんばることの大切さに気づき、やらなければならないことを行おうとしている。

9 板書

10 成果と課題

- 役割演技を通して，なまけ心に勝つためには強い心をもつことや，やり遂げた後のすがすがしさや達成感について考えさせることができた。
- 主題分析をしっかり行い，ねらいと中心発問を練ることで，考えさせたいことに迫ることができた。
- 役割演技にどのくらい時間をかけるか，児童が始めるときに時間設定をしておく。
- 発問が変わっても児童の反応が前の発問と変わらないようであれば，発問を省くことも必要。

11 今後に向けて

- ・児童の「伝えたい」「話したい」という気持ちを大切にしながら，友達の考えと自分の考えを比べながら話せるようにしていく。